

9ぎなみ



発行/杉並区
編集/広報課
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 3312-2111
FAX3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

区民意見を募集します	…… 3
秋の全国交通安全運動	…… 4
「都市農地を守ろう！」 アグリフェスタ2013	……12
⑥おばあちゃん、おいしい話にご用心！～資産形成詐欺に気をつけて	……12
「コミュかる」が折り込まれています。	

～平成25年度前期～

区が取り組んでいる主な事業をお知らせします

25年度は、杉並区基本構想に基づく総合計画の2年目の年です。基本構想の将来像「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」の実現に向けて、「次世代に夢と希望を拓く予算」として、「次世代に夢と希望を」「まちづくりを通して地域経済、地域社会の活性化を」「安全・安心に暮らせるまちを」の3つの視点で重点的に取組を実施しています。その中で主な事業の概要や成果、今後の方向性をお知らせします。

基本構想に掲げる 区の将来像

平成25年度の主な事業

次世代に夢と希望を

- 「待機児童対策緊急推進プラン」の着実な実施
- 次世代育成のための交流事業
- 杉並中学生生徒会サミット
- 若者の就職をハローワークと一緒に支援

子どもや若者が夢と希望を見出し、その実現に向かって、社会のさまざまな場面でいきいきと活躍してこそ、地域社会全体に活力が生まれてきます。さまざまな体験・活躍の場を創出するなどの支援をしていきます。

まちづくりを通して地域経済、地域社会の活性化を

- 地域特性を活かした商店街活性化促進

地域住民がまちづくりに取り組む中で、人と人の絆が生まれ、さらに強まり、地域社会の活性化を図ることができます。また、地域ににぎわいと活力を生み出す杉並らしい産業の振興を、ハード面のまちづくりとの連携を図りながら推進していくなど、区内経済のさらなる活性化に取り組めます。

安全・安心に暮らせるまちを

- 実効性のある防災対策
- 狭あい道路拡幅の推進

人々にとって、安全や安心は生活の土台です。安全・安心の地域社会を築いていくことは、基礎自治体に課せられた重要な責務です。災害対策をはじめとし、区民が安全に、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。



基本構想の実現を目指して



杉並区長
田中 良

区では基本構想の実現に向けて、必要な施策を計画的に取り組んでいます。昨年度は基本構想を着実に進める年と位置付け、その成果を第三回定例会に報告します。さらに今号では、今年度前期の主な実績を紹介いたします。この他にも、高齢者の見守りサービス等の充実や特別養護老人ホームの建設助成など福祉向上の需要にしっかりと応えながらさまざまな事業を着実に進めています。

一方で多様化する行政需要に的確に対応するためには、計画的な行政運営が必要となります。10年後には築50年を超える施設が約32%になり、このままでは維持管理に多額の費用が掛かります。また保育施設のように不足する施設がある一方で、十分に活用されていない施設もあります。

今ある施設の必要性を検証し、他用途への転用を含めた施設の再編は、区民の皆さんとともに知恵を出し合わなければならぬ喫緊の課題であり、避けて通れない道です。また、集会所やスポーツ施設などのさまざまな使用料は、未利用者との公平性の確保や維持管理コストの軽減などから、適正な受益者負担と適切な財源確保に努めなければなりません。

さまざまな考え方はありますが、これからの時代を見据えて明確に方針を出していかなければならないと考えます。区民の皆さんのご理解とご協力により、今後も基本構想の実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

各取組の詳細は2面をご覧ください

2020年オリンピック・パラリンピック東京開催決定を記念して、9月23日(祝)に「東京開催祝賀イベント」を行います。詳細は9面をご覧ください。

「次世代に
夢と希望を」

「待機児童対策緊急推進
プラン」の着実な実施

【事業の概要】

区は、急増する保育需要に的確に対応するため、3月、「待機児童対策緊急推進プラン」を策定しました。プランでは、26年4月までに合計800名以上の保育定員を確保するための施設整備を図るとともに、保育施設等の適切な情報提供の仕組みや相談体制を整備するなど、ハード・ソフト両面からの取組を進めることとしています。

【事業の実績】

このうち、施設整備については、4月の待機児童数(285名)等を踏まえ、7月に、合計で1100名を超える定員を確保する整備目標の上方修正を行いました。

【事業の概要】

認可保育所10所の新設・増設を核とした施設整備は、おおむね順調に進捗しています。また、7月には、16名の「すぎなみ保育コーディネーター」が、個々の保護者のニーズに応じた保育施設・保育サービスの利用に関する相談・案内を一層きめ細かに行う保育総合相談窓口を開設しました。10月からは、認可外保育施設の保育料補助制度



▲9月に開設したこどもヶ丘保育園

【今後の方向性】

26年4月の待機児童ゼロを確実に達成するため、引き続き、プランに基づく施設整備を進めるとともに、各施設における保育の質の確保と円滑な運営を支援していきます。

次世代育成のための交流事業

【事業の概要】

子どもたちの可能性を引き出し、子どもたちの将来の「夢」を育むために「次世代育成基金」を24年4月に創設し、国内外の交流やスポーツ等の事業への子どもたちの積極的な参加を支援しています。

【事業の実績】

7月に実施した中学生小笠原自然体験交流事業は、世界自然遺産となった小笠原諸島での自然体験や村民の方々との交流を通じ、各学校・地域における環境保全活動の推進役となる環境リーダーを育成することを目的として行いました。また、12月に実施する小学生名寄自然体験交流事業では、北海道名寄市ならではの厳冬の中での自然体験や地元の方々との交流を行っています。参加した子どもたちは、新たな友人たちとのつながりを築くとともに、大きな感動と多くの学びを得る貴重な経験をしました。

【今後の方向性】

このほか、今年度の基金活用事業は、10月にオーストラリア・ウイロビー市への中学生海外留学、12月には台湾・台北市における交流自治体中学生親善野球大会を予定しています。今後とも基金の周知に努め、多くの区民の賛同・支援の寄附を得ながら、子どもたちの健やかな

成長を一層支援することができるよう、基金の更なる運用拡充を図っていきます。

杉並中学生生徒会サミット

【事業の概要】

「いじめの問題に関して、中学生自らが立ちあがれないか」と。この生徒自らの発言がきっかけとなり、区内の中学校では、いじめをなくそうを合言葉に、ポスターや標語、あいさつ運動などの取組が始まっています。こうした取組が契機となり、8月4日に全区立中学校23校が一堂に会する、「杉並中学生生徒会サミット」という形となりました。

【事業の実績】

「杉並中学生生徒会サミット」では、4校の代表校が取組を発表しました。さらに、各校の代表による活発な意見交換がなされ、区内の全中学校からいじめをなくす行動を進めることを確認しました。

【今後の方向性】

今後は、生徒会が中心となり、サミットで得た成果を、学区内の小学校へ伝え、小中学校が協力して、いじめをなくすように取り組みます。さらに、学校と地域、教育委員会が一体となって、いじめをなくす活動を地域に広げていきます。

若者の就職をハローワークと一緒に支援

【事業の概要】

区とハローワーク新宿が一体となって、若者等の就労を支援するために、就労準備相談から職業紹介、定着支援までを行う就労支援センターを24年12月に産業商工会館内にオープンしました。キャリアカウンセラーや

臨床心理士による就労準備相談、コミュニケーション力向上、面接対策などのセミナーやグループワーク等を実施しています。

【事業の実績】

若者就労支援コーナーは、就労経験が少ない相談者など一人一人の状況を踏まえ、相談から就労まで担当者制をとり相談者に寄り添う「伴走型」の支援が特徴です。その結果、開設から8月末までに、就労準備相談者は394人、就労・進路決定者は91人の成果を上げています。また、ハローワークでの就職決定者は就職面接を含め、312人となっています。

【今後の方向性】

新たな取組として、直ちに一般就労に結びつかない若者を対象に、区内の事業者等の協力を得て、就労準備に向けた支援つきの就労訓練や社会適応力訓練を11月から実施する予定です。また、リサイクル事業を通して、区としても就労訓練の場を設ける予定です。

II まちづくりを通して
地域経済・地域社会の
活性化を
「なみじやない、杉並」の発信

地域特性を活かした商店街活性化促進(「なみじやない、杉並」)の発信

【事業の概要】

区内各地域の特性を最大限に活かし、杉並の魅力伝えることにより、区外から人を集め、にぎわいを生み出し、また行ってみたいくなるまちとしていくために、区内産業団体をはじめとした民間団体が結集し、杉並区の魅力ある地域資源を発信する「なみじやない、杉並」中



なみじやない、杉並! 中央線あるあるPROJECT

央線あるあるPRORJECT」を展開しています。

【事業の実績】

阿佐谷七夕まつりや東京高円寺阿波おどりの開催に合わせ、新聞メディアを活用したプロジェクトのPRを展開しました。また、さまざまな切り口で都心にはない「中央線らしい」観光イベントや各駅周辺の個性的な店舗などを発掘し、ポータルサイトやフェイスブックを通じて、中央線沿線の「良さ」「らしさ」を凝縮した情報を継続的に発信しています。

【今後の方向性】

今後は、「高円寺フェス」を10月下旬に開催するほか、杉並をよく知る著名人によるお薦めのまち歩きコースの新聞への掲載、区内アニメ制作会社の協力を得ながら、アニメキャラクターを活用した誘客事業などを進めていきます。

III 安全・安心に
暮らせるまちを
実効性のある防災対策

都心部にはない魅力を存分にPRすることで、区内はもとより、区外からの集客力を高め、地域ににぎわいと商機を生み出す産業振興策に取り組み、区内経済のさらなる活性化を図っていきます。

【事業の概要】

東日本大震災の教訓や都が新

たに公表した首都直下地震の被害想定などを踏まえ、杉並区地域防災計画の修正を行っています。女性の視点を取り入れるため、防災会議の委員に新たに女性2人を加え見直しを進めています。また、障害者、高齢者などにも配慮した計画づくりを進めています。

【事業の実績】

避難した区民や帰宅困難者の通信環境の整備として、震災救援所(66カ所)にWiFiスポットを設置しました。また、区内最大の交通結節点である荻窪駅前における帰宅困難者の避難誘導等のため「荻窪駅前滞留者対策協議会」を設置しました。

【今後の方向性】

名寄市、東吾妻町、小千谷市、南相馬市など9自治体間の災害時の相互支援を着実に進めるとともに、中学生レスキュー隊活動の充実や防災リーダーの養成、総合震災訓練の実施など防犯体制の強化に努めます。また、災害時に避難拠点となる学校などにおいては、施設の規模や状況に応じて、自家発電や蓄電機能の整備を行います。

狭あい道路拡幅の推進

狭あい道路には、通行上の問題だけでなく、災害時の消火活動や避難が困難となるなどの問題があり、その解消が課題となっています。区内の道路のおよそ3割、約330kmが幅員4mに満たない狭あい道路で、中央線沿線や環状7号線沿道など火災危険度が高い木造住宅密集地域に多く存在しています。そこで、良好な居住環境の確保と災害に強いまちづくりを目的に、狭あい道路拡幅整備事業に取り



▲中学生レスキュー隊

【事業の実績】

平成元年度の事業開始から24年かけ、建物の建替え時に土地所有者のご協力を得て、狭あい道路全体のおよそ26%の拡幅整備を行いました。

【今後の方向性】

狭あい道路の拡幅には、区民の方々の理解と協力が不可欠です。発生が危惧されている首都直下地震に備えるためにも、中央線沿線や環状7号線沿道など火災危険度が高い木造住宅密集地域などを重点地域と位置付け、戸別訪問により区民に直接協力を呼びかけるなど、狭あい道路の拡幅を積極的に進めていきます。

**「区立施設再編整備計画(第一期)(素案)」
「使用料等の見直し(素案)」を策定しました**

素案は、区ホームページでご覧いただけるほか、区役所本庁舎西棟2階 区政資料室で有料頒布いたします。

企画課